

軍務局

警務局長

局員

平部

局長先任の次三軍務局長

海

軍

海軍

大正八年三月廿二日

午後六時四十分

局發

發信者

臨南防軍醫長代理

受信者

醫務局長

電報譯

出

約一周河ノ前ヨリ「ハラオ」島民河ニ於テ
症状輕微ナルコトインフルエンザに數十名ヲ發シ
漸次蔓延シ徵アリ

第一課
第二課

小波

山部

前田

（明正印刷）

0636

警務局受
8. 3. 25



軍第三三號

軍務局

第一課長

局員

山

古

大正八年一月二十一日

政務局長宛

軍務局長

南洋占領地肺炎性インフルエンザ病況ニ関スル件

本件ニ関シテ去月ヨリ多府費官房第四四二號ニテ

尙者次官ヨリ貴省次官ニ向テ一紙ヲ寄シテ

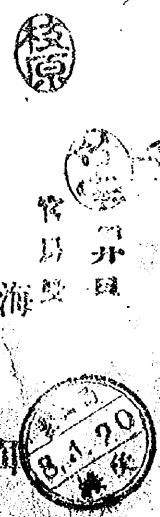
概左記ノ通電報有之ニテ其ノ中ニハ一ニ成後

少申進マ

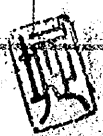
記

臨時南洋防備隊軍醫長ヨリ陸軍省局長宛ニテ

本月初旬ヨリ「イノ」ニテ島内尚「インフルエンザ」は



0637



1-20

三四名死亡を以て漸く終つた

月十日

海軍

0638

大正八年四月十日 前田島員

四尚電侍從武官名

豫テ御詔付之別冊(大正八年下半期臨時南洋
群島防備隊現況概要)及御送付條條用函上ハ
清臣原相成様致ス
右申付ス

(別冊用)

印

(明正印刷)

海軍

前田島員
武官名

0639

軍務局

大正七年四月

二十三日 午後十一時、分無線局着

共済

受信者大臣

電報譯

ヤツプ守備隊長兼ヤツプ所長「ヤツプ」民政
所長大尉萩原榮七着任迄大尉兒井
勲ヲシテ同職ヲ代理セシム（四月二十二日）

第一課

海軍

(加藤印刷)

0640

軍務局

供
電



大正八年 二月

九日

午後

一時

分

局發

11日

午前

九時

分

局著

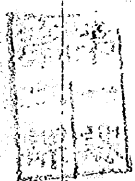
發信者

臨時南洋群島防備隊司令官

受信者 大臣

電報譯

九日侍從武官當隊ニ着聖旨令景ノ傳達ヲ行ハシ
ハ官ニ御煙草御酒隊員同ニ御煙草傷病者ニ
御菓子ヲ下賜セラルハ官高等下一同シ代表シ此丸ノ
手續ヲナセテ右報告ス



小政



明治印刷

0641

軍務局受

R. K. 12

雑記

軍務局

經理局

經理局

有

經理局

經理局

五月十九日

松崎三吉佐村謹

意

第一課

可

前

お役先の種し書に於て不詳な事柄

相違ひの點が甚だ多し事柄の不明なる

点候に知由の向方より詳しき調査をして

下 大行書意を以て之より詳し

不詳事項

一 六月十七日南洋日報の載出する所の日及

事一書録

一 六月十七日南洋日報の載出する所の日及

0642

前

ラレる数量及其ノ價額

三、南洋羣島鑛業規則、依リ施行可也とシテ鑛物ノ種
數、採掘高、洋一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

四、交通概況

交通概況

補助収入、不足額概況及
多額赤字ノ交通ノ全件

通信概況

電報、郵便、電話ノ全件

五、南洋羣島防衛隊現行法及法第百五ノ印刷
本ノ一、新ニ委託ノ行方

六、以上各段中、並ニ南洋ノ世界ノ一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
並ニ経費ノ事項、並ニ其ノ概況、並ニ其ノ概況、並ニ其ノ概況、
並ニ其ノ概況、並ニ其ノ概況、並ニ其ノ概況、並ニ其ノ概況、

並美濃部紙(十三行全)

軍務局

軍第一一七號

拓第一三四六號

大正八年三月二十八日

拓殖局次長 立花 俊吉

第一課
第二課

海軍省軍務局長 井出 謙治 殿

當局執務參考上南洋占領地ニ關スル左記事項調査ノ爲當局員可差遣候
條相當便宜供與相成度及御依頼候也

記

一、教育、醫務、法務、財務、産業、土地(貸下 拂下)、村治、交通、警察

等ニ關スル諸規定

二、占領後毎年ノ支出、收入額

同 輸出、輸入ノ額及稅率

0644

三占領後毎年ノ生産額ノ統計

以
上

並發渡野紙十三行全

0645

海軍省



海



軍



海軍省
官房

軍務局長



第一課長
第二課長



局長



大正八年

五月二十日起
五月二十日發付済

省別官

臨南防別官

電報

及練習艦隊行動豫定表中(二月十七日海軍公報參照)左ノ通変更セラレタリ

記

五月五日フリーマントル發
二十一日古倫母着
二十六日發
六月二日新嘉坡着
七日發
十七日發
セブ着
二十日發
二十五日パラオ着
二十八日發
七月三日トラツク着
十五日發
十九日サイパン着

(發回續)



0646

二十日發二十六日横須賀着

海軍

83

(漢文)

0647

電報着信紙

局 着		局 發		名氏所居人信受		
取扱者	受信	付午後	付午後	第一	下	
中	八時	九	二時	七	三	
分	分	分	分	二	分	
字	字	日	號	局	官報	
定指					番號	
練習艦隊ノ行動ニ要スル						紙數
知ラサレタシ						第
臨時南洋群島防務高札					號	
前田					印附日信着	

本報は東京に於て毎日出版され、其の發行所は東京市本町二丁目である。

0648



艦政局

經理局

軍第三三六號

<p>軍務局長 第一課長 第二課長 局員</p>	<p>大正四年 六月十九日起 發付済 軍務局長</p>	<p>第五課 南洋群島産「マニラ」麻ニテ網索試製</p>	<p>先 關スル件</p>	<p>新設艦政局へ送付相成候「オホ」島生産「マニラ」 何レモ製網材料ニ適スルモノニ有之趣ニ付此際更ニ 右品ヲ原料トセル網索ヲ實地試用シ其ノ成績ヲ 徵スルコトト相成候條今品栽培者アリテ試用ニ適腐 ナル網索ヲ提出セシメラルル様御取計相成度</p>
---	--	---	----------------------------	---

(明治四十四年)

經理局檢印 0649 8.6.27

政艦 8.6.25 海軍 8.6.23

海軍

右試用品供スル綱索ハ横須賀海軍工廠ニ
於テ購買ノ上試用品方取計ヲコトト相成候ニ付
本品ヲ製造セシムル倉社ノ撰定、試用品綱索種
類其他必要事項ニ関シテハ、前記栽培者ヲシテ
直接横須賀工廠ニ就キ詳細指示ヲ受ケレラルル
様致度

右照會ス

終

(明治)

0650

軍務

廿五

第三〇六號

大正八年六月十六日

海軍省艦政局長

前

井出海軍省軍務局長殿

南洋群島産「マニラ」麻ニテ網索試験ニ

関スル件

客年十月二十六日艦政工機密第一〇号ヲ以テ

「マニラ」麻試作方ニ関シ照會致置候處先

般黑瀬臨時南洋群島防備隊參謀長ヨ

リ「バラオ」島生産「マニラ」及「サイヤル

」ニ「マニラ」見本送達候ハ其ノ品質調査方

第三〇六號

0651

東京製網株式會社へ依頼せしめ、同社ノ所
 見別紙写ノ通ニ有之儀ニ就テハ此ノ際更ニ
 右品ヲ原料トセル網索ヲ實地試用シ其ノ
 成績ヲ徴シタル上本品自給ノ方針ヲ定メ
 度俟條令品栽培者ヲシテ試用ニ適當ナル
 網索ヲ提出セシメラル、様御取針相成度
 追テ右試用ニ供スル網索ハ槽須賀海軍工
 廠ニテ購買ノ上試用方令工廠へ照會致
 置候旨本品ヲ製造セシムルキ會社ノ
 撥定、試用網索ノ種類其ノ他必要事
 項ニ關シテハ前記載培養者ヲシテ直接槽須

(機文附)

0652

右昭會

加賀工廠ニ就テ詳細指示ヲ度ケルニ付

加賀工場

昭

海軍

(明治神廟)

0653



大正八年五月二十日

東京製鋼株式会社

海軍省造船課

海軍省造船局御中

「マニラヘンプ」關スル件

拜啓去十六日附艦政工書第九號御書面ヲ以テ「ヘン
 プ」關スル件御照會會ノ趣拜答仕候御是本品
 ニ就キ相續申ヌ處
 (一)「中軸」近キ皮層ノ品質佳良マニラ中筆ノ麻ノ上
 ノ部ニ傷ス
 (二)「第四、五、六、七皮層」ノハ前者ノ次位

(明治印刷)

海軍

0654

(三) 御見本品ハフ所ニ者リ異リ纖維ニ細平ナルモ同シマ
 二フヘンブレニシテ「サイサルヘンブレ」ハモ之「フサリピン」群
 島中「ダウア」地方ニ産スルマニラニ殊ト外觀品質
 共ニ類似シ品位ハ所別ニニ劣ル
 以上ニ種何レモ製絨材料ニ適シ安用上價値有
 ルモノニ有之ニ云

張目

(明正印刷)

海軍省

軍務局長

封出

第一課長

局員

前田

海

軍

前田

大正八年

六月二十日起 察
六月二十五日 發付濟

省副官

有田豊作

南洋群島ニ関スル件

右ニ関シ農商務省調査課ニ御問合ノ事項ニ就テ左
記ノ通ト御承知アリ度

記

一、「マリアナ」群島、西「カロリン」群島ハ牧畜農業ニ適ス、マ
ーシャル群島及東「カロリン」群島ハ地質上、前記ニ群島ノ
如クナラス
林業ハ金群島ニ適ス、但シ椰子ヲ最通トス

官房第三八一號

(明正地誌)

0656

現状ノ詳細ハ附表ノ如シ

ニ、温度ハ別表ノ用

三、内地ヨリトラシムルハ日本郵船株式會社汽船華西ニ依ルト

ラシムルヨリハ同社汽船花咲丸ニ依ルヲ得

四、土人ミテ日本語ヲ解スルモノ多シ

右回答ス

別表三系添

23

(明治甲辰)

0657

1.0
1.5
2.0

別表

島名	年	最高	最低	平均
甘心島	大正四年	九三	七二	八二
甘心島	大正五年	九一	七一	八一
甘心島	大正六年	九二	七二	八一
トコノ島	大正四年	九四	七二	八二
トコノ島	大正五年	九一	六九	八一
トコノ島	大正六年	九二	七一	八一
ヤブ島	大正四年	九四	七二	八一
ヤブ島	大正五年	九二	七一	八一
ヤブ島	大正六年	九二	七一	八一

南洋群島気温表(華氏)

海軍

0658

	中 ノ ト 島		和 ノ ト 島		心 ノ ト 島			
	一	一	一	一	一	一	一	島
	八 二	七 二	九 〇	八 一	七 二	九 一	八 二	七 二
	八 一	七 一	九 一	八 〇	七 一	九 〇	八 二	七 四
八 〇	七 一	八 二	七 九	七 〇	八 八	八 二	七 二	九 二

海
軍

(修正印刷)

0659

軍



本件責者ノ所任任ニ付及迎附候也

古正六年六月四日

海軍省御中

農務局農産課

面倒乍ら

宗被下度御願

あり南洋諸

國は林業少額なり

渡航出来

通可なり

御報也被下度

0661 0660

軍務局

No.



甚多安然御面倒
左の事柄不就き御教示被下度御願
申上矣

今度我々の管理下にある南洋の諸

群島の牧畜農業或は林業の摘するや

同島の温度は何程なり哉

伐等如何の船便より渡航出来

得るや

同島は何の語にて通じるか

以上成る可く細察に御報せ被下矣

年 月 日

0661 0660

No. _____

年
月
日



返信料相承御願甲上矣也

敬具

大正八年五月三十日

朝鮮京城和泉町萬鉄社宅

享一福島方 有田豊作

農商務省

調査課 御中

0662

軍務局

持領見日農務部署調査書

問合致置美古洋群島事情の件

第一課

前田

吉野

本日医務局第三三三號の詳細を御回答

候之有難く拝見仕度、先口不登書事

厚々御礼申上事也

子々

大正八年六月三日

有田豊作

七月一日
官房受

0663

海軍省副官

小林 躰造 殿

京城シノサヤ印行

0668-2

寫

第一課

圖

大正八年九月二日

古橋事務官

島田譯官殿

書籍送附一件

別紙目錄、通り獨書十八冊送附候條御用濟
上ハ至急返送方可然御取計ニ相成度
右為念

(外秋育、依款より取寄せんとす)

(終)

海軍

0664

送附書籍目録

0665

✓ 1.	Deutsche Kolonial - Gesetzgebung			
	Sechster Teil		1901-1902	
✓ 2.	全	7	Teil	1903
✓ 3.	"	8	Teil	1904
✓ 4.	"	9	Band	1905
✓ 5.	"	10	Band	1906
✓ 6.	"	11	Band	1907
✓ 7.	"	12	Band	1908
✓ 8.	"	13	Band	1909
✓ 9.	Kolonial Gesetzgebung			III
✓ 10.	Kolonial Gesetzgebung			IV
✓ 11.	Kolonial Gesetzgebung			V

- ✓ 12. Deutsche Kolonial-Gesetzgebung 1 Teil
- ✓ 13. Deutsche Kolonial-Gesetzgebung 2 Teil
- ✓ 14. Gesetzessammlung für Deutsch-Neuguinea
- ✓ 15. Amtsblatt für das Schutzgebiet Deutsch-Neuguinea 1913

✓ 16. ニュージーランド南洋保護領法規集

✓ 17. Die Rechtsverhältnisse der deutschen Schutzgebiete

✓ 18. Liegenschaftsrecht in den deutschen Schutzgebieten.

以上十八冊

9990

軍務局

第一課
第二課

大正八年九月

二十九日
三十日

午後六時
午前七時十五分
無線
局着

發信者 臨時南洋群島防備隊參謀長

受信者 大臣

平文 電報譯

臨時南洋群島防備隊司令官命ニ依リ九月二十八日出發上京セラル上京不在中本職

其職務ヲ代理ス
右報告ス

海軍

(加印印刷部)

9.30

0667

軍務局

大臣官房

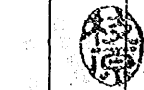
第一課	第二課	第三課	第四課	第五課	第六課	第七課	第八課	第九課	第十課
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						
			(印)						



手塚
長
印

明五日より四五日の間に京都、旅、行、一、日、七、日、申、出、り
信州 京都 信州、山、路、を、下、り、宇、野、方

海軍



軍務局長受
八、二、四

Handwritten signature or stamp in the bottom right corner.

0668

(明正印刷局)

大正八年七月十九日

午後一時一分トラス局發
午後七時一分海軍一局着

發信者臨時南洋群島防備隊司令官

第一課 第二課 信者大臣

電報譯

軍務局

水路部

目取上左、予定ニテホナ。ヤル。ト管區巡航並東カ
リン群島測量ニ從事セシム。

七月二十日トラスク發 二十三日ホナ。着 廿五日發

廿六日クサイ。着 廿七日發 廿九日ヤル。ト着 八月一日

發シレ。マシユロアル。ト航。八月五日ヤル。ト着

八月發 十月クサイ。着 十月發 以後ホナ。ト

根據トシ東カカリ。群島測量ニ從事シ九月

五日トラス。着

日本海軍

0669

軍務局受 8.7.21

軍務局

大正九年八月二十日午後〇時 分
大正九年八月二十日午前七時 十分
海軍局 發

受信者 海軍省副官
發信者 臨時南洋群防備隊參謀長

電報譯

第四回御吉野丸便ハ「トラツク」終點トナリタルニ付
「ヤツ」ハ「オ」ア「ガウル」方面へ連絡ハ勝カラ
シテ巡航ヲ兼ネ行ハシメ九月下旬当地ヲ發セシ
メラルル豫定念ノ爲メ

第二課

七海軍省副官
本並りおとれり
海軍省副官

海軍

0670

519

26

軍務局

法務局

高第七六九六號

大正八年九月十日

山口縣知事中山

内務大臣末次竹二郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

警視總監殿

福岡縣知事殿

朝鮮總督府警務局長殿

局員

山田

山田

南洋ヨリ帰来、鮮人労働者

之関スル件

0671

備平安南道江西郡草里面南湖里

李善根

外二十九名

右ハ兼ネテ管下下開市西村惣四郎経営ニ係ル南洋サイパン島西村製糖所ニ被雇中ノ如本月八日午後三時門司入港、郵船葦丙丸ニテ歸來直ニ西村方ニ至リ帰還旅費支給方ニ付交渉スル処アリ其内容ヲ調査スルニ前記製糖所ニ被雇中ノ労働者ハ平安南道以テ全四維南道版トシテ激シク其ノ監督者間ニ軋ク生ジ引クテ労働者ニ波及シテ常ニ及目セル状態ニアル趣ナシガ過般平

安洲ノ一婦人が全羅派ノ者ニ飲料木トシテ
汚水ヲ給シタリトカニテ爭論ヲ生ジ遂ニ
正式裁判ヲ仰グニ至リ今回前記三十名
ヲ解雇退去セシムルニ至リシモノニテ勞
働者側ハ各自宅ニテノ旅費ヲ要求セ
シ又西村ハ其ノ負担ニ堪ハズトテ拒絶シ
結局釜山ニテノ旅費ヲ支給スルコトニ
交渉纏リ平穩ニ解決シタルニ内古名
ハ下関市ニ残留シテ労働ニ従事シニ
十四名ハ本月九日午前十時三十分乘
運終船ニテ帰鮮ヤ
右及申面指黄也

0673

申通 邦先 札名 通

0674

秘

六一九

大正八年十二月十四日

午前十一時一分 横鎮 册發
午後十一時三十分 海軍 册發

受信者 海軍大臣

發信者 臨時南洋群島防備隊夏官

電報譯

軍務局

十一月三日クサノ島南洋拓殖工業會社
農場ニ於テ勞働賃金問題
ニ関シ朝鮮人約六十騷擾
ノ死傷者ヲ出セル事件取調
爲十二月
更ニ報告ス
最上ヲ派遣シ
詳細取調

方ノ才廣知地 官有森林系野五十二町年

海軍

0675

軍務局長

第一課長 小松 局員 (印)

大正八年十二月十九日

軍務局長

臨南方司令官宛

綱索用マミラニ麻苗ニ関スル件

本年八月軍第三三六號監會ニヨリ試用綱索試験成績別紙寫ノ通艦政局長ヨリ通牒有之候條却了知相

成度

右第...
第三第...

進テ別紙寫艦政局長希望ノ次第モ有之今後機ヲ

得ハ更ニ産地ヨリ優良ナルマミラニ麻苗ヲ移植ス等

適宜ノ方法ヲ講ニ試用致度希望ニ付右却了知

上ノ然御取計相成度

別紙 (系)

(明治印刷)

政務 8.12.17 課六
海軍 8.12.16

0676

政務 12.18

艦政工第三〇六號

大正八年十二月五日

軍務



海軍省



岡田海軍省艦政局長

井出海軍省軍務局長殿

南洋群島産「マニラ」麻原料トセル網索

試験ニ関スル件

南洋群島産「マニラ」麻原料トセル網索ニ就キ横須賀工廠

ニ於テ施行セル試験成績別紙寫通ニ有之使用ノ見

込無之候條決了知相成度

右通知ス

軍第三〇六號

職心録

海軍

軍務局接受
八、三、六

0677

客付
付訂
大八
軍政

軍務局接収
八月十六日
海軍

海軍省艦政局長

付トスル 綱索

留致置候南洋群
就々横須賀工廠
通ニ有之使用ノ見

職心致納

0677

客月十六日トアルニ本年六月十六日一課

付訂正致致

大正八年十一月十七日

軍務局御申

艦政局

0678

海軍

自ラ海軍用綱索自給自足ノ見地ヨリ更ニ優良ナルマニラ麻苗ヲ移殖栽培ヲ試ミル等其ノ品質ノ向上ニ努カメレラルノ事ヲ希望致候

別紙トシテ添付

終

0679



別紙

同	同	同	同	同	同	同	同	品名	試験成績書	緊張力試験	記
同	同	同	同	同	同	同	同	コイルロープ	（天正八三二）		
1/2	2	2 1/4	2 3/4	3	3 1/4	3 3/4	4	寸度	規格	破断力規格以下	
同	同	同	同	同	同	同	同	實格	除格		
0.1100	0.5996	0.9831	1.6000	1.8210	1.8200	0.3882	1.4000	3.9222	1.9200	3.0105	

杉山麻村

海軍

0680

軍務局

拓^収第三〇五號

大正九年三月二十六日

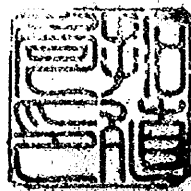
海軍省副官殿

拓殖局



第一課

局員



南洋群島ニ關スル書類返却ノ件

本月十三日官房機密第三二九號ヲ以テ貸與相成候南洋群島ニ關スル
左記書類及返却候

記

一、大正八年下半年臨時南洋群島防備隊現況概要

拓殖局

軍務局
第三〇五號

0681

2

海軍省警

小林

軍務局長

第一課長

山梨

局員

關

大正九年

三月十一日起 案
三月十三日 發付 濟

省副官

拓殖局書記官

南洋群島ニ関スル書類貸出ノ件

過般貴局北島書記官御末前ノ切御依頼有之候南洋
群島ニ関スル書類左記ノモノヲ及御貸出候條御用濟次第返
却相成度

右申進ス

追テ本書中ニ秘密ニ亘ル事項等有之候ニ付御合置相成度

記

一大正九年下半期臨時南洋群島防備隊現況概要

一括

官房機密第三三九號

林

三月十日

0682

(備考)

北島書記官官命ニテ最近
便ニ南洋ニ関スル一紙
紙添テ出テ中ニモ
出張ノニテリ
渡船ノ状況
調査ノト如ク
出テ中ニモ

487
899
4830

内閣

拓殖局書記官 北島謙次郎

明治印刷

0683

南洋交通船の東洋航行記録
2号の南洋航行記録
南洋交通船の東洋航行記録
南洋交通船の東洋航行記録
南洋交通船の東洋航行記録

南洋交通船の東洋航行記録



0684